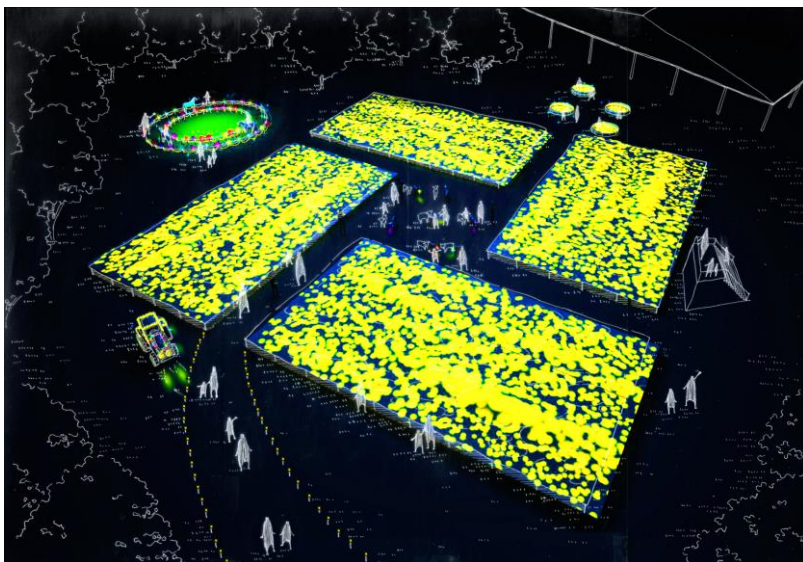


開園以来初の冬季夜間営業開催 光のヒマワリが真冬に満開！ 「冬に夢見る★ゆめ牧場」 ～夜に花咲く光と風のヒマワリ畑～

千葉県の観光牧場「成田ゆめ牧場」（代表取締役：秋葉良子／千葉県成田市）では、来る12月3日（土）～2017年3月12日（日）までの期間、開園以来初めてとなる冬季夜間営業「冬に夢見る★ゆめ牧場」を開催いたします。

■ 冬季夜間営業「冬に夢見る★ゆめ牧場」概要

1987年の開園から29年となる当牧場ですが、冬季夜間営業は初の試みとなります。初開催の目玉として、光と自然を融合させた「インスタレーション」を実施いたします。テーマは「夜に花咲く光と風のヒマワリ畑」。当牧場では、夏季においてその象徴たるヒマワリの畑を「迷路」として構築、期間総数約8万7千本の「黄金迷路」として幅広い年齢層のお客様を多数お迎えしております。その認知度とイメージを活かし、この度の冬季営業では夜間ならではの見せ方で、光が織りなす冬のヒマワリ畑を演出いたします。また、光のヒマワリ畑を抜けるとその先には、ヤギ・ヒツジ・ポニー等、牧場の動物たちの鼓動が伝わる「温もり広場」が開けています。



左：画像はイメージです

右：夏の「ひまわり迷路」の様子

■ 当牧場における夜間営業の特徴

先行で冬季夜間営業を行っている観光施設は「イルミネーション」を主軸に誘客を図っている所が多数です。当牧場では敢えて、それとは異なる新しい「体験」として「インスタレーション」を打ち出します。また、会場には動物コーナーを設置することで、昼間は見せない表情、寒い冬の夜だからこそ「生きている動物」の温かさを感じ取って頂ける癒しの空間を作り出します。牧場内広場「エーカー広場」を主会場とし、一部の飲食店舗・売店を営業します。

● 作品(インスタレーション)について

大きな布の下から、多数の黄色い LED ライトを照射します。布が風にゆったり波打つことで、光が変幻自在に拡縮し「ひまわり」のイメージを生み出します。クリエイティブディレクターに菅原大輔(SUGAWARADAI SUKE)、アーティストに島田正道を迎え、「牧場」という大自然そのものを舞台に「鑑賞」ではなく「体験」して頂く作品となります。人工的でありながら自然のスケール感を全身で体感できる幻想的な空間を創出いたします。

● トラクターおじいさん

会場エーカー広場入口では、光の牧場案内人「トラクターおじいさん」がお出迎えいたします。本物のトラクターを設置、暗闇の中、人が近づくと音声アナウンスが流れ、装飾ライトが点灯する仕掛けでワクワク感を醸成いたします。



● 温もり広場

光のヒマワリ畑を抜けた先には、ヒツジ・アヒル・ポニー・ヤギなど「夜の動物たち」との触れ合い体験スペースが開けています。寒い冬だからこそ感じる「生命の温かさ」は昼間とは異なる新鮮体験。また、ヤギの瞳孔が「昼間は直線」なのに「夜は丸く広がる」などの発見があるかもしれません。比喩ではなく、昼とは表情や印象が異なる姿に出会えるのも夜間営業ならではの特徴です。また期間中、体験内容にも変化を付けて開催する予定です。



■ 期待される効果

観光施設において冬季の集客は大きな課題です。当牧場ではこの時期に「全国穴掘り大会」などを実施して参りましたが単発企画の弱みがありました。この度の冬季通期開催でボトムアップを図るべく、牧場らしさを失わず、なおかつ「冬」「夜」ならではの体験創造を目指しております。過去の冬季来場者数は約6万人が最高数ですが、本企画実施によって7万人の来場を期待しております。光と風と動物たちが織り成す成田ゆめ牧場の冬物語。真夏の象徴「ひまわり」が光に転生する幻想と癒しの空間へようこそ！

【冬に夢見る★ゆめ牧場】

- 開催期間：2016年12月3日(土)～2017年3月12日(日) ※雨天・荒天中止 当日朝10時HP上にて告知
- 開催時間：点灯開始/日没次第 営業終了/土日祝：20:30 平日：20:00 ※天候・日程により変動あり
- 16時以降牧場入場料：大人(中学生以上)：500円 小人(3歳以上)：250円 犬：無料 普通車駐車料：600円

■ 成田ゆめ牧場

1987年開園。前身の搾乳専業牧場は明治20年(1887年)創業。創業100年を機に、約9万坪の敷地面積を有する観光牧場に事業転換。約80頭の牛のほか、ヤギ・ヒツジ等との触れあいが楽しめる。「全国穴掘り大会」等のイベントのほか、通信販売・外部店舗なども積極的に展開。製造から加工、販売まで一貫した6次産業経営を行っている。

〒289-0111 千葉県成田市名木730 [TEL:0476-96-1001](tel:0476-96-1001) 年中無休

アクセス：車：圏央道下総ICより約2分 電車：JR成田線滑河駅より無料送迎バス10分

■ お問い合わせ・レポート・写真のメール配信依頼は下記までお願いいたします

press@yumebokujo.com TEL0476-96-1009 広報担当：鈴木卓、落合沙也佳